

## 令和7年度厚木市議会友好都市交流訪問団（網走市）報告書【概要版】

1 訪問期間 令和8年2月6日（金）～2月8日（日）

2 訪問先 北海道網走市

3 訪問団 7人

団長 望月 真実 副議長

団員 高田 浩 議員

松本 樹影 議員

田口 孝男 議員

高橋 知己 議員

小島 まさひろ 議員

事務局 矢部 浩之 議会総務課長

4 目的

国内友好都市である北海道網走市に、市議会で構成する訪問団を派遣し、議会関係者や友好交流団体等との友好親善を図る。

5 訪問日程

2月6日（金）

8時40分 厚木市役所 出発

12時30分 羽田空港（発）JAL567便

14時10分 女満別空港（着）

15時00分 網走市役所新庁舎（議場）見学

15時30分 網走市表敬訪問

18時00分 議会・市長部局友好・交流都市合同歓迎会  
（厚木市、網走市、糸満市、天童市）

2月7日（土）

9時00分 博物館網走監獄見学

11時00分 オホーツク流氷まつり開会式参加

13時00分 道の駅 流氷街道網走見学

14時00分 流氷砕石観光船おーろら乗船

18時00分 4市議会交流会  
（厚木市、網走市、糸満市、天童市）

2月8日（日）

9時30分 女満別空港（発）JAL562 便  
11時30分 羽田空港（着）  
14時00分 厚木市役所 到着

## 6 網走市の概要

網走市は、北海道の東部、オホーツク海沿岸に位置し、また、女満別空港から約 20 kmと立地条件も良く、農業、漁業、観光の街として発展している。特に漁業は、オホーツク海には豊かな「海の幸」があり、タラ、ホタテ、サケ・マスをはじめとする様々な魚種が水揚げされており、オホーツク海沿岸では水揚げ量も取扱金額もトップクラスを誇っている。また、冬の風物詩として有名な「あばしりオホーツク流氷まつり」や「流氷観光船おーら」を始め、ワカサギ釣りなども盛んで、網走市を訪れる観光客は年間 160 万人を数えている。

人口は、31,420 人、世帯数 17,711 世帯（令和 8 年 1 月末現在）、面積 471.00 km<sup>2</sup>。

## 7 視察等概要

2月6日（金）第1日目

### （1）網走市役所新庁舎見学

令和 7 年 2 月 25 日オープンした新庁舎の議場を見学した。5階は議会フロアとして、中央部に議場を配置しており、議場内は、議会と理事者だけではなく、委員間による意見交換等をしやすくするため、兵庫県の太子町（たいしちょう）議会を参考として円形の議席配置とした。また、議場内はフラットな床としており、傍聴席と議席側との段差はない。他の会議室については、旧庁舎では各会派の部屋を用意していたが、新庁舎では会派の部屋は設けず、議員控室 1 箇所と 3 つの小会議室を自由に使用できる事としている。

### （2）網走市への表敬訪問

網走市役所で表敬訪問を実施した。網走市の水谷市長、後藤副市長、網走市議会の松浦議長、永本副議長、秋葉総務企画部長、岩尾議会事務局長、厚木市では市議会訪問団以外に、山口貴裕市長、吉岡秘書課長が出席した。

水谷市長から、訪問中は流氷まつりをはじめ網走市の食や文化を楽しんでほしいとのお話をいただくなど、歓迎をいただいた。網走市新庁舎や両市の話題などでたいへんに盛り上がった。

### (3) 議会・市長部局 友好・交流都市合同交流会

網走市及び網走市議会の水谷市長、松浦議長、永本副議長ほか計 10 名、厚木市の友好都市である糸満市の徳元副市長、金城副議長ほか計 4 名、網走市の観光物産交流都市である天童市の新関市長、遠藤議長ほか計 4 名、厚木市では、山口市長、厚木市議会議員団ほか計 10 名の合計 28 人の出席により 4 市合同交流会が開催された。各市のまちづくりや地域振興などについて、幅広く活発な意見交換を行うことができた。

2月7日（土）第2日目

#### (1) 博物館網走監獄見学

重要文化財 8 棟を含む旧網走刑務所の歴史的建造物 25 棟を保存公開する野外歴史博物館として、網走国定公園の景勝天都山（てんとざん）網走湖側に位置し、敷地面積は東京ドーム約 3.5 個分に相当している。また、刑務所を体験できる国内唯一の施設と言われている。

明治初期当時の我が国は富国強兵政策をとっており経済的に大きく発展するためには、当時、未開の地であった北海道の開拓が必要不可欠と考えられた。その開拓のためには、人や物を運ぶための道路を作らなければならず、国策として囚人を労働力として使ってきた。平成 22 年に建設された「歴史監獄館」内の、「体感シアター」では、左右前方の 3 面に当時の過酷な現場をイメージした映像が映し出され、ナレーションと共に、中央道路開削の様子を臨場感たっぷりに見ることができた。

また、この形で現存する唯一の木造刑務所施設として重要文化財に指定されている「舎房及び中央見張所」は、明治村に移築された金沢監獄と同型で、5 棟の舎房が放射状に延びており中心には見張所が設けられ、舎房の隅々まで見渡すことができ、当時の独居房などでの生活を知ることができた。施設全体の見学を通して、当時の受刑者の服役状況や北海道開拓時の刑務所の果たした役割や北海道の開拓に囚人の労働力が貢献していたことなどを知ることができた。

#### (2) あばしりオホーツク流氷まつり 開会式参加

網走商港埠頭特設会場にて 2 月 7 日から 8 日までの 2 日間開催される「第 61 回あばしりオホーツク流氷まつり」の開会式に来賓として参加した。

参加した当日は、寒さは感じられるものの雪は降っておらず安定した天気であった。

開会式のステージ上では主催者である小澤実行委員長の挨拶の後、来賓代表である市長からの挨拶、友好都市である厚木市、糸満市、韓国蔚山（ウルサン）南区、物産交流都市である天童市の来賓の紹介が行われた。また、開会式の中で、航空自衛隊網走分屯基地が網走市及び流氷まつり実行委員会との協定に基づき製作した「メインステージ」と「氷のすべり台」の引渡式が行われた。

開会式終了後、網走市民の方々の手作りによる冰雪像、氷の滑り台や網走ちゃんぼん、網走湖産のシジミ汁など網走ならではのグルメが楽しめる店、友好都市物産品の店が並ぶまつり会場を視察した。

開会式後に 500 個のホタテが「餅まき」のように撒かれたり、人気芸能人のオンステージなどの各種イベントが予定されており、観光客や家族連れの方を中心に賑わいを見せていた。

### （3）流氷砕石観光船おーろら乗船

流氷は数日前まで海岸沿いに来ていたようだが、当日は移動してしまい見ることができなかった。しかし、船内は国内だけではなく海外からの観光客も数多く見られ満員であった。流氷は、中国とロシアの国境を流れる極東最大の大川アムール川から、オホーツク海に注ぐ淡水が氷結し、南下するにつれて大きく成長し、1月下旬頃、その白く神秘的な姿をオホーツク沿岸に見せる。流氷が来る時期に合わせて様々な野生の動物たちも顔を見せ、オオワシの飛ぶ様子も見ることができるとあるらしい。この風景は、貴重な自然風景であるとともに、網走市の観光資源としてもたいへんな強みであることが確認できた。流氷の形の「流氷飴」や、仕込み水に本物の流氷を利用した地元ビール会社が製造する「流氷 DRAFT」なども観光客を中心にたいへん人気があるとの事で、船内や乗船場に隣接する道の駅でも販売されていた。

### （4）4市議会交流会

議長、副議長のほか、網走市議会議員会の会長である栗田議員、副会長の深津議員も出席された4市議会交流会では、両市議会としては、今後も引き続き協力関係を維持し、教育やスポーツ交流など行政や市民とともに多くの行事等で親交・親善を深め、友好関係を図っていくことで相互理解を得ることができた。また、友好都市である糸満市議会や網走市の観光物産交流都市である天童市議会の皆様との親睦も一層深めることができた。

## 8 まとめ

今回の訪問では、冬の大イベントである「第61回あばしりオホーツク流氷まつり開会式」や各種交流会など、さまざまな場面で網走市議

会と交流の場を持つことができました。

両市議会の対話の中で、今後も経済や産業、文化に留まらず、教育やスポーツ交流など、広い階層や多くの行事等で行政や市民とともに、親交・親善を深め、互いに利益となるような友好関係を進めていくことが確認されました。

流氷を見ることはできませんでしたが、網走市の食や文化などを行うことができました。また、観光面については、インバウンドの影響もあり国外からの観光客も非常に多く、観光資源、観光客に対するおもてなし等たいへん参考になりました。

更には網走市・厚木市両市の友好都市である糸満市、網走市の観光物産交流都市である天童市の皆様とも長時間にわたり親しく交流することで各種の意見交換ができ、本市議会として大変有意義な訪問となりました。